

令和4年(2022年) 6月22日(水) 13907号



# 株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

## 4月出荷量推定

### 前年比5か月連続マイナスの見込み

#### 日本電線工業会

一般社団法人日本電線工業会(井上治会長)はこのほど、国内銅電線の4月推定出荷量と3月実績を発表した。推定で、4月は52,100トン、前年同月比3.1%減となり、同月のマイナスは12月から5か月連続となる見込み。建設・電販と「その他内需」以外5分野でダウンとなっている。

3月実績は57,121トン、同2.2%減だった。

4月推定で、建設・電販は25,000トン同1.0%増、その他内需は3,600トン0.3%増。マイナスは、家電など電気機械が11,700トン0.5%減、自動車か6,800トン14.1%減、電力3,500トン6.3%減、通信700トン14.3%減となっている。これら内需全体は、51,300トン2.4%減とみられている。

また、3月実績は、建設・電販、輸出が同プラスだったが、電気機械など他の5分野はマイナス。内需全体は55,426トン3.2%減となった。

3月実績などの品種別一覧は表の通り。

主要部門別出荷表(2022年3月分実績・4月分推定)

部 門	数 量						金 額			光製品(数量)		
	3月 (実績)	前月 比(%)	前年 同月比%	4月 (推定)	前月 比(%)	前年 同月比%	3月 (実績)	前月 比(%)	前年 同月比%	3月 (実績)	前月 比(%)	前年 同月比%
	(トン)			(トン)			(百万円)			(kmc)		
通 信	772	106.8	90.5	700	90.7	85.7	1,669	107.1	111.6	212,110	103.1	70.1
電 力	(1,679)	(170.8)	(85.4)	(900)	(53.6)	(66.7)	(1,407)	(173.3)	(96.4)			
	4,105	109.6	96.5	3,500	85.3	93.7	6,222	108.9	107.8	18,665	50.9	63.7
電 気 機 械	(253)	(108.1)	(94.8)				(292)	(82.5)	(109.4)			
	12,252	109.6	94.1	11,700	95.5	99.5	20,205	109.1	120.6			
自 動 車	(152)	(84.4)	(86.4)				(602)	(91.6)	(83.3)	【その他内需】 287,931	118.5	78.2
	7,599	105.2	86.8	6,800	89.5	85.9	40,903	112.2	95.8			
建 設・電 販	(119)	(566.7)	(371.9)				(130)	(464.3)	(107.4)			
	27,032	113.3	101.8	25,000	92.5	101.0	43,758	115.6	124.7			
そ の 他 内 需	(53)	(123.3)	(74.6)	(500)	(86.7)	(92.6)	(75)	(113.6)	(102.7)			
	3,666	109.4	95.5	3,600	98.2	100.3	8,988	116.5	126.4			
内 需 計	(2,256)	(154.4)	(89.8)	(1,400)	(62.1)	(74.1)	(2,507)	(130.7)	(94.8)			
	55,426	110.7	96.8	51,300	92.6	97.6	121,746	112.9	111.8	518,706	106.9	74.1
輸 出	(614)	(30,700.0)	(45.6)	(100)	(16.3)	(238.1)	(361)	(2,678.6)	(52.8)			
	1,695	133.9	151.6	800	47.2	66.3	5,651	100.7	103.8	4,003,802	121.8	111.3
合 計	(2,870)	(196.2)	(74.4)	(1,500)	(52.3)	(77.7)	(2,868)	(148.4)	(86.2)			
	57,121	111.2	97.8	52,100	91.2	96.9	127,397	112.3	111.4	4,522,508	119.9	105.2
心 線 販 売	(469)	(104.5)	(103.8)	(500)	(106.6)	(121.4)	(183)	(110.9)	(155.1)			
	23,464	103.4	92.0	21,800	92.9	81.4	26,299	104.9	119.8			

産業電子機器4月受注

衛星系通信、レーダ内需

前年比大幅増

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(時田隆仁会長)はこのほど、4月の産業用電子機器受注統計をまとめ発表した。

うち固定通信装置は、衛星系通信装置の内需が前年同月比で835.9%という大きな伸びとなり、同147.4%増となった。無線応用装置は、レーダの内需が同391.1%増とけん引して同287.0%増となった。

無線通信機器は全体の受注計で同41.5%増の627億50百万円。内訳は、放送装置が57億60百万円、同19.3%減、固定通信装置259億24百万円、同147.4%増、基地局通信装置32億97百万円、同60.4%減、移動局通信装置104億84百万円、同24.8%減、無線応用装置172億85百万円、同287.0%増とばらついている。

また、業務用映像装置は同13.6%減の119億38百万円。超音波応用装置は同23.0%増の63億87百万円。電気測定器は同4.2%減の43億87百万円だった。

日刊金属 6ヵ月:46,200円
外電配信料(税込) 12ヵ月:92,400円

2022年4月 産業用電子機器 受注統計

単位:百万円、%

Table with columns for 需要計, 内需, 外需, and sub-columns for 2022年4月, %, 累計(4月~4月), and %.

携帯電話国内出荷 2022年度・4月

前年比81.5% スマホは111%

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(綱川智会長)はこのほど、2022年4月の携帯電話国内出荷実績を発表した。

台数は696千台、前年同月比は81.5%となり、2021年度全体の前年度比98.4%を16.9ポイント下回った。

コロナ禍前の2018年4月801千台、2019年4月923千台と比べても低い水準となっている。

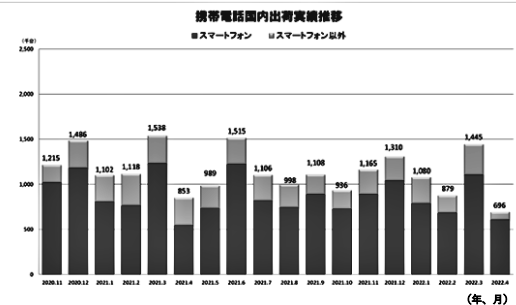
今回実績のうちスマートフォンは608千台、同比111.4%となり、春夏モデルの出荷が開始されたことにより7か月ぶりにプラスとなった。

単月のスマートフォン比率は87.4%と前月より11.1ポイント上昇した。

2022年4月 携帯電話国内出荷実績(単位:千台、%)

Table comparing 2022年4月 and 2021年4~22年3月 for 携帯電話 and うちスマートフォン.

携帯電話国内出荷実績 月次推移(2020年11月~2022年4月)



世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで
Ogico OHGITANI Corporation
銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般
株式会社 扇谷
本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム
http://www.ogico.co.jp

https://nikkankinzoku.co.jp/
PW: KINZOKU2203

2022年 4月 実績

(単位：トン)

区 分	生 産				出 荷				在 庫			
	板類	押出類	合計	はく	板類	押出類	合計	はく	板類	押出類	合計	はく
2022年 4月	106,217	58,131	164,348	9,525	102,868	59,068	161,936	9,792	49,084	9,185	58,269	5,532
2022年 3月	111,646	62,261	173,907	10,930	109,239	63,055	172,294	11,067	46,178	9,082	55,260	5,763
前 月 比%	-4.9	-6.6	-5.5	-12.9	-5.8	-6.3	-6.0	-11.5	6.3	1.1	5.4	-4.0
前年同月比%	0.1	-4.4	-1.5	-12.5	-3.1	-3.9	-3.4	-11.9	11.5	7.9	10.9	25.8

4月アルミニウム圧延品 生産・出荷  
板・押出生産6か月ぶりにマイナス

アルミ協会

一般社団法人日本アルミニウム協会(水口誠会長)はこのほど、2022年4月のアルミニウム圧延品生産・出荷動向を発表した。板・押出類の生産合計は164,348トン、前年同月比1.5%減で6か月ぶりのマイナス。同出荷は161,936トン同3.4%減で2か月連続のマイナスとなった。「はく」は生産・出荷とも2か月連続のマイナスだった。

板類は、生産がプラス、出荷はマイナス。半導体製造装置向け厚板を含む「その他」はプラスだったが、缶材、自動車、はく地は出荷減となった。押出は、生産・出荷ともマイナスで、最大用途の建設向けがサッシ、内外装ともにマイナスに転じた。「はく」は、需要をけん引してきた電気機械器具向けがマイナスとなった。

板 類

- (1)缶材36,399ト(▲6.1%) :外食機会が増える一方で家飲み需要が減少したことなどから、6か月ぶりに前年比を下回った。
- (2)自動車14,267ト(▲15.3%) :主に半導体の供給不足により、自動車生産の減少が継続している。(国内自動車生産台数の前年同月比推移：12月▲5.5%→1月▲20.4%→2月▲1.6%→3月▲17.3%)

押出類

- (1)建設35,417ト(▲1.0%) :住宅着工戸数はプラスだった

ものの、アルミ使用比率の低下により前年比マイナスとなった。(3月の住宅着工戸数：76,120戸、前年同月比+6.0%)

- (2)自動車9,936ト(▲14.0%) :板同様、国内自動車生産台数の減少によりマイナスが続いている。

は く

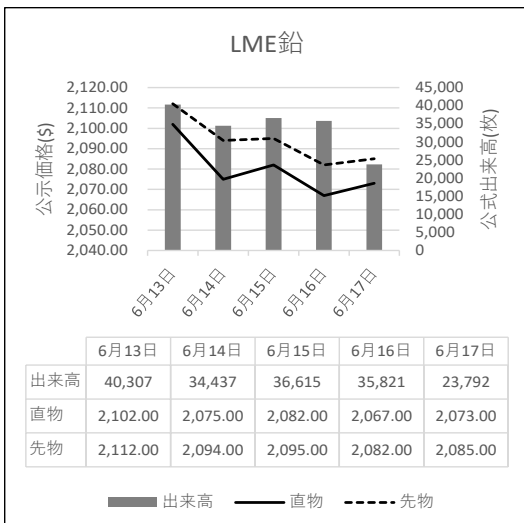
- (1)電気機械器具5,644ト(▲13.6%) :コンデンサー向け、リチウムイオン電池向けともにマイナスとなった。(コンデンサー向け：▲3.2%、リチウムイオン電池向け：▲27.7%)
- (2)食料品1,940ト(▲6.1%) :レトルトパウチなどで、アルミ箔構成からフィルム構成へ移行が起きている影響もあり、前年比減となった。

2022年4月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	106,217	0.1	6か月連続でプラス
押出類	58,131	▲4.4	2か月連続でマイナス
板押計	164,348	▲1.5	6か月ぶりにマイナス
はく	9,525	▲12.5	2か月連続でマイナス

	出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	102,868	▲3.1	4か月ぶりにマイナス
押出類	59,068	▲3.9	2か月連続でマイナス
板押計	161,936	▲3.4	2か月連続でマイナス
はく	9,792	▲11.9	2か月連続でマイナス

LME公式値週間推移 6月13日~6月17日(現地)



### 故銅市況

21日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,101.00ドルより226.00ドル安の8,875.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,967.00ドルより22.50ドル高の8,989.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,100.00ドルより235.00ドル安の8,865.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,961.50ドルより16.00ドル高の8,977.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）は、19日がジュンティース独立記念日の祝日であったため、どの代休として20日は休場。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の7月限は、前営業日の6万9,610元より940元安の6万8,670元。

21日の東京為替市場TTSレートは、前日の136.25円より0.04円の円高ドル安、1ドル=136.21円。21日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,875.00ドル。この値と21日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の127万8,000円より3万2,000円安の124万6,000円。

この日、電気銅建値は126万円に据え置かれた。

#### 故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(6月17日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が974~979、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは939~944、並銅は904~914、込銅(高品位=約97%)は894、セバは753~758。コーベルは要り用筋で694、それ以外は679ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋704、それ以外674~684どころの値頃。並青銅鋳物削粉は791~796どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が954~974、上銅新くずが919~939、普通上銅が894~914、2号銅線が886~906、並銅が884~904、込銅(94-97%)が832、込銅(90-93%)が834、下銅が500~550、セバが718~753、コーベルが634~679、黄銅棒地が629~674、黄銅削粉が624~669、黄銅ラジが589~597、交叉ラジが519~576、黄銅銅鋳物が511~518、送りが357~376、上青銅鋳物が788~808、並青銅鋳物が768~783、上青銅鋳物削粉が783~803、並青銅鋳物削粉が758~778どころ。

### アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

#### 関東地区 (6月後半)

2S=235円~255円、63S=219円~270円、アルミホイール(1P)=131円~245円、ビス付サッシ=87円~96円、エンジンコロ=115円~123円、込合金(機械鋳物)=93円~101円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

#### 関西地区 (6月後半)

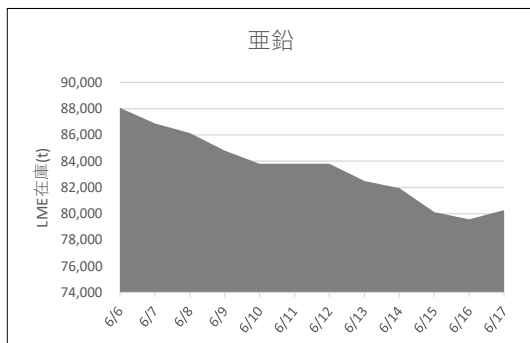
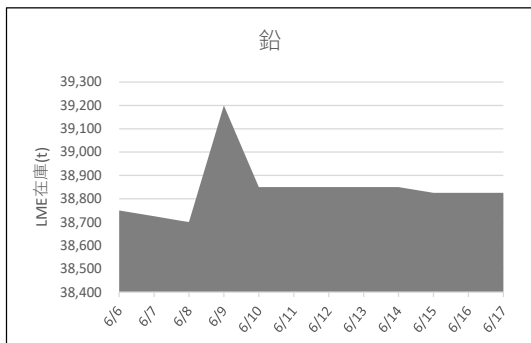
2S=217円~220円、63S=220円~255円、印刷版=210円~213円、アルミホイール(1P)=196円~206円、ベースメタル=159円~163円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=75円~78円、ビス付サッシ=93円~108円、缶プレス=83円~88円。

### 為替動向

20日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前週末と比べ0.0080ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0530ドル~1.0540ドルで推移した。欧州の主要株価指数が上昇、過度な運用リスク回避姿勢が後退しユーロ買いドル売りが優勢となった。この日、ECBのラガルド総裁は、7月に0.25%の利上げを実施。インフレの見通し次第では9月により大きな利上げ幅が適切になるとしたうえで、ユーロ圏の金融市場分断について、「早いうちに芽を摘み取らなければならない」と述べ、金融政策の伝達を妨げないようにする必要性を指摘した。円は対ユーロで下落。同じく0.70円の円安ユーロ高、1ユーロ=142.10円~142.20円で推移した。

21日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.40円の円安ドル高、1ドル=135.05円~135.07円だった。前日20日は米国市場がジュンティース独立記念日(Juneteenth National Independence Day)の振替休日で休場、取引材料に乏しいなか日米の金融政策の相違を意識した円売りドル買いが優勢になっていた。20日の欧州株式市場ではドイツや英国などの主要な株価指数が上昇。投資家がリスク回避姿勢を和らげており円売りにつながった。円は対ユーロでも下落。同じく0.40円の円安ユーロ高、1ユーロ=142.03円~142.05円だった。

### LME認定倉庫在庫推移 6月6日~6月17日(現地)





LME銅相場は大幅続落、8営業日で8~9%安  
 直物終値は8,989.50ドル  
 COMEXは休場 SHFE銅相場は7営業日の続落  
 LME非鉄相場はほぼ全面安 今月に入ってアルミは約13%安



21日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、6月18日入電の9,101.00ドルより226.00ドル安の8,875.00ドル。8営業日の続落で8.43%安。この週2.48%の下落。6月に入って6.58%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の9,100.00ドルより235.00ドル安の8,865.00ドル。8営業日の続落で8.53%安。この週2.58%の下落。6月に入って6.78%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地6月17日の11万8,025トンより1,000トン減の11万7,025トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）は、ジュンティース独立記念日の振替休日で休場。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、7月限が、6月18日入電の6万9,610元より940元安の6万8,670元。7営業日の続落で5.71%安。この週1.35%の下落。6月に入って4.76%の下落。中心限月に当たる8月限は、6月18日入電の6万9,380元より1,010元安の6万8,370元。7営業日の続落で5.98%安。この週1.46%の下落。6月に入って4.83%の下落。

**錫は反落**

LME錫相場の前場売値は、直物が、6月18日入電の3万2,600.00ドルより1,575.00ドル安の3万1,025.00ドル。反落して4.83%安。この週4.83%の下落。6月に入って11.10%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の3万2,300.00ドルより1,400.00ドル安の3万0,900.00ドル。4営業日ぶりの反落で4.33%安。この週4.33%の下落。6月に入って10.76%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地6月17日の3,260トンより70トン増の3,330トン。

**鉛も反落**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、6月18日入電の2,073.00ドルより27.00ドル安の2,046.00ドル。反落して1.30%安。この週1.30%の下落。6月に入って5.97%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の2,085.00ドルより25.00ドル安の2,060.00ドル。反落して1.20%安。この週1.20%の下落。6月に入って5.42%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地6月17日の3万8,825トンより425トン増の3万9,250トン。

**亜鉛は続落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、6月18日入電の3,580.00ドルより8.00ドル安の3,572.00ドル。

3営業日の続落で3.49%安。この週0.22%の下落。6月に入って10.21%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の3,532.00ドルより23.00ドル安の3,509.00ドル。3営業日の続落で3.97%安。この週0.65%の下落。6月に入って11.21%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地6月17日の8万0,275トンより850トン減の7万9,425トン。

**アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、6月18日入電の2,474.00ドルより12.00ドル安の2,462.00ドル。8営業日の続落で10.97%安。この週0.49%の下落。6月に入って12.59%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の2,502.00ドルより21.00ドル安の2,481.00ドル。4営業日の続落で4.98%安。この週0.84%の下落。6月に入って12.95%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地6月17日の40万7,875トンより万3,425トン減の40万4,450トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、6月18日入電より横ばいの1,675.00ドル。この週横ばい。6月に入って14.54%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電より横ばいの1,675.00ドル。この週横ばい。6月に入って14.54%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、6月18日入電より横ばいの2,502.00ドル。この週横ばい。6月に入って14.23%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電より横ばいの2,490.00ドル。この週横ばい。6月に入って14.43%の下落。

**ニッケルはまちまち**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、6月18日入電の2万5,435.00ドルより205.00ドル安の2万5,230.00ドル。反落して0.81%安。この週0.81%の下落。6月に入って12.09%の下落。3か月物の前場売値は、6月18日入電の2万5,450.00ドルより50.00ドル高の2万5,500.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.20%高。この週0.20%の上伸。6月に入って11.46%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地6月17日の6万8,868トンより12トン減の6万8,856トン。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME公示価格(US\$) / 6月20日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,875.00	31,025.00	2,046.00	3,572.00	2,462.00	1,675.00	2,502.00	25,230.00
	前営業日比	▲ 226.00	▲ 1,575.00	▲ 27.00	▲ 8.00	▲ 12.00	0.00	0.00	▲ 205.00
先物	公示価格	8,865.00	30,900.00	2,060.00	3,509.00	2,481.00	1,675.00	2,490.00	25,500.00
	前営業日比	▲ 235.00	▲ 1,400.00	▲ 25.00	▲ 23.00	▲ 21.00	0.00	0.00	50.00

海外非鉄金属相場

(6月21日 入電・現地 6月20日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 6月限, 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2170.0 (▲25.0), 2162.0 (▲6.5).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: -, -, -.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1836.50 (▲5.05), 13200, 3.75, 1.60, 250, 9.25, 9.45, 43.00, 39.25, 7300, 320.0, 105.

KLTM編(MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: (20日), (21日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: -, -, -, 3.7600, 4.4018, -, -.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 117,025, 3,330, 39,250, 79,425, 404,450, 2,120, 5,160, 68,856. Changes: ▲1,000, 70, 425, ▲850, ▲3,425, -, ▲40, ▲12.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 55,237, 267,337, 159,672, 87,830, 2,564. Changes: 3,784, ▲2,246, ▲6,156, 595, ▲924.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (6/21), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8,979.0, 30,865.0, 2,094.0, 3,548.5, 2,535.5, -, -. Changes: -, 31,080.0, 2,096.5, 3,549.5, 2,538.5, -, -.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 68670, 19685, 25405, 14925, 197240. Changes: ▲940, 10, ▲275, ▲65, 130.

※現地20日のニューヨーク市場は休場です。21日のKLTMは取引がありません。

Table with columns: 為替相場, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, TTS, 136.21, -0.04. Values: 銅 8875, 錫 31025, 鉛 2046, 亜鉛 3572, アルミ 2462, ニッケル 25230. Changes: ▲32, ▲216, ▲4, ▲1, ▲1, ▲28.

非鉄金属製品相場

(6月21日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1550	1515	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1600	1565	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1680	1715	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1680	1715	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1590	1625	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1460	1485	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1515	1530	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 33.2~35.3
銅線0.9ミリ	1540	1545	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 90.8~96.5
銅帯6×50	1470	1485	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 227~241
銅平角線	1740	1715	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1275	1275	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1727~1836
〃 0.3ミリ	1305	1305	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2665~2833
黄銅大板2×1×2	1425	1455	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4472~4754
黄銅管	1740	1755	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2739~2906
復水器用黄銅管	1710	1725	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3837~4071
黄銅棒快削25ミリ	1040	1120	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1070	1150	貴金属(一般小口向け)			3C×2 133-137
四角棒	1100	1180	白金(グラム)		◎ 4579	4C×2 179-183
鍛造用	1080	1160	パラジウム(グラム)		◎ 9174	6C×2 254-260
ネーパル	1180	1260	金(グラム)		◎ 8835	7C×2 291-298
高力	1180	1260	銀(キログラム)		◆ 106260	合金鉄 4月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1475	1455	レアメタル輸入価格	4月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 237
黄銅平角線ロール仕上	1675	1665	金属ケイ素(99.99%未満)	539		〃 その他 480.1
黄銅条1.5×100	1295	1290	モリブデン酸化物	3827		フェロシリコン55%以上 284
リン青銅板一般用1.0ミリ	2750	2940	タンタル	63080		フェロクロム4%以上炭素含有 228.2
〃 バネ用0.3ミリ	3020	3230	マグネシウム	-		フェロモリブデン純分60%以上 3562
リン青銅棒25ミリ	2840	3050	コバルト	9365		フェロバナジウム 4637
リン青銅線3ミリ	3230	3450	インジウム	28383		フェロニッケル33%未満 709
洋白板一般用1.0ミリ	3770	3920				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3930	4070				

減 摩 合 金	6月16日改定	銅 合 金 地 金	6月1日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5675	BC 1種	1290
2種	5500	2種	1645
3種	5315	3種	1735
4種	4655	6種	1410
5種	4485	7種	1525
7種	1465	YBSC 3種	1155
8種	1245	LBC 3種	1675
9種	1070	PBC 2種	1760



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(6月21日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値		
山元建値 電気銅 1260(17) 金 8,020(21)								
( ) 実施日 電気鉛 336(16) 銀 95,890(21)								
電気亜鉛 526(20) 錫(99.99%) 5,800(20)								
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値		
1号銅線	1137	1121	電気銅 ◎	1228	1223	1230	1225	
2号銅線	1085	—	電気亜鉛	491	485	491	485	
上銅(新切)	1108	1086	蒸留亜鉛	479	473	479	473	
雑ナゲット	958	950	再生ダイカスト亜鉛2種	394	388	394	388	
並銅	1040	1017	再生亜鉛(98%)	340	334	340	334	
下銅	1021	990	電気鉛	312	309	312	309	
銅削粉	1020	993	再生鉛1号	295	285	290	285	
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	300	296	295	291	
新切黄銅セバ	872	868	錫1号	4500	4450	4500	4450	
コーベル	839	826	アンチモン	1950	1900	1950	1900	
黄銅棒地	823	814	ニッケル(メッキ用)	3600	3550	3600	3550	
黄銅削粉	817	810	コバルト	11200	10900	11200	10900	
並黄銅	723	703	セレニウム	3400	3200	3400	3200	
黄銅ラジエター	649	624	ビスマス	1350	1250	1350	1250	
交叉ラジエター	668	651	カドミウム	600	550	600	550	
黄銅鑄物	728	—	マグネシウム合金	600	580	600	580	
山送り(55%)	420	—	アルミ地金99.70%	◆379	◆375	◆381	◆377	
上青銅鑄物	886	—	アルミ二次地金99%	335	330	335	330	
並青銅鑄物	884	859	〃 90%	298	293	298	293	
上青銅鑄物削粉	879	—	アルミ二次合金ADC12	447	442	450	445	
並青銅鑄物削粉	869	847	鑄物用C2BS	472	467	474	469	
新切リン青銅(伸銅)	—	1120	青銅合金地金3種	1630	1620	1700	1690	
〃 (鑄物)	1002	—	〃 6種	1345	1335	1330	1320	
リン青銅削粉	915	891	ハンダ錫60%	3795	3755	3815	3785	
新切洋白(電子材)	933	902	〃 50%	3265	3215	3285	3255	
新切亜鉛	241	241	〃 40%	2800	2740	2755	2725	
ダイカストくず	206	206	減摩合金2種	5465	5435	5470	5440	
亜鉛ドロス	184	195	〃 4種	4625	4600	4630	4600	
上鉛	146	144	〃 7種	1445	1395	1445	1395	
電池素鉛ケース込	30	30	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		155	155	
活字鉛	131	128		〃 グライ粉		140	140	
新切アルミ1級	252	259		高耐食ステンレスSUS316		360	360	
新切サッシ1級	252	257		耐熱ステンレスSUS310		635	635	
新切合金1級	237	237		13クローム 新切		29	33	
機械鑄物1級	150	160		ハイス 9種		220	220	
ビス付サッシP	173	175						
合金削粉P	95	105						
込ガラP	90	97						
カン・バラ	180	171						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2206